

17 回生 横尾俊輔さん (多久市出身)



クリエイティブなアイデアで
世の中をもう一歩前へ。

2000年 4月 弘学館中学校入学
2006年 3月 弘学館高等学校卒業
2006年 4月 東京大学理科 I 類入学
2012年 3月 東京大学大学院
工学系研究科卒業
2012年 4月 電通入社

(2019年1月現在)

工学・技術から 広告・デザインへの転換

高校の時からモノづくりの仕事に携わりたいと思い、高校では理系を選択し、東京大学理科 I 類入学後、「進学振り分け」の際、工学部に進学しました。その後も大学院まで進み、周囲の友人たちとともに技術系へ就職をするはずでした。しかし、あるメーカーの人の話を聞いていた時、転機が訪れます。実際の仕事内容を聞いていると、「自分が本当にやりたいことは、技術職ではないのでは?…」 機械の技術的な設計よりも、商品開発やデザインの仕事がしたいと思ったのです。そこを境に、就職先の候補を広げ、もともとの志望だったメーカーではなく、クリエイティブとデザインの世界である広告代理店「電通」に就職しました。

クリエイティブな発想で 商品やサービスを生み出す

広告代理店「電通」の主な仕事は、CMをはじめ、様々な広告をすることです。そのコアにあるのは、「人の心を動かす」こと。人を惹きつけ、あっと言わせるクリエイティブなアイデアと緻密な戦略を考えるのが仕事です。広告代理店は「アイデア」の会社でもあるのです。そして最近はそのアイデアを新商品やサービスの開発、社会の課題解決へも応用する仕事をしています。世の中をもっと良くしたり、面白くする事業を考えて、クライアントと一緒に開発する仕事です。もちろんその途中にはいくつもの困難もあります。でも、その大変さよりも、自分が手がけたものが世の中に出る瞬間が最高に気持ちいい、そんな仕事をしています。



あるプロジェクトで開発した

スマートベビーカーのプロトタイプ

横尾俊輔さんのとある一日

10:00 出勤
10:30 社内打合せ
12:00 外出しつつ昼食
13:30 クライアントにプレゼン
16:00 帰社してアイデア出し
18:00 資料作成/メール
20:00 帰宅

後輩へのメッセージ

将来を見据えて、楽(らく)な道より楽(たの)しい道を選べ。

どの大学にいきたいかはさることながら、その先でどんな仕事をしたいかを考えよう。今たまたま得意なこと(教科)ではなく、自分が心から好きなこと(教科)で将来の道を考えてみる。その実現のためなら、今は不得意なことも頑張る気持ちが生まれるはず。